



犬・笑・暮だより vol.49

シャンプー ~この時期に気をつけること その①~



寒さも本番ですね。この季節、ワンちゃんに風邪をひかしてしまったりは大変と考えてしまいますが、やはり月に1回か2回程度のシャンプーは必要です。体調を壊さないように室温にも注意して洗ってあげましょう。ということで、2回にわたって寒い季節のシャンプーについてのお話です。

シャンプーは、ゆっくり、優しく……

まずは、愛犬に合うシャンプーを見つけることが大切。皮膚の弱いコやアレルギーを持っているコなどは特に注意が必要です。シャンプーの裏側等にある原料などが書いてある説明をよく読んで選びます。最近ではアロマ成分のものもあるので、それも良いかも。どちらかという、汚れ落ちはそのほどこ良くなくても、皮膚に優しいものの方が安心ですね。

だいたいのワンちゃんはシャンプーが苦手ですが、飼い主さんがビックリさせないように気をつけてあげると、少しずつ上手に我慢が出来るようになります。洗う時にも、いきなり洗い始めるのではなく、最初にブラッシングをして、毛についたごみなどをよく落としておくと、楽に素早くキレイにあげることが出来ます。

ブラッシングが済んだら、洗う場所へ移動し、低めの温度のお湯（だいたい36度くらい）で、シャワーヘッドを体に付けて、お尻の方からずらしながら静かに濡らして行きます。あまり高い位置から急にジャーっとかけると、それだけでびっくりしてしまって、お風呂嫌いになってしまうので、あくまでも“ゆっくり、優しく”を心がけます。

体がまんべんなく濡れたら、この時点でお尻の肛門腺を絞っておくと良いでしょう。毛が濡れると指が滑らせやすくなるので、必要以上に尻尾を引っ張ったりしなくてもスムーズに絞れます。

そうそう、肛門腺を絞る時には、くれぐれも覗き込まないように。ピューッと飛び出してきて、顔にでもかかったら、それはもう、臭くて大変ですから。

さて、肛門腺絞りも終わったら、いよいよ洗い始めましょう。体全体にシャンプーをなじませたら、ゆっくりと優しく体中を洗います。特にウンチやおしっこが付きやすいお尻のまわりや肉球の間、口のまわり、顎の下など、汚れやすいところを念入りに。

飼い主さんが「洗うぞ!!」って怖い顔して近づいてきたら、ワンちゃんだって緊張してしまいます。いつもと違うシチュエーションでの愛犬との触れ合いを、楽しみながら出来たらいいですね。



Mini Column

肛門腺って何？

「スカンクは敵に襲われたときにくさいオナラをする」という話を聞いたことがありませんか？ 実は、犬や猫にも、二オイのする液状の分泌物が入った袋がお尻の穴の左右にひとつずつあります。これが肛門腺（こうもんせん）・肛門嚢（こうもんのかう）といわれるもの。肛門のすぐそば、時計の文字盤で4時と8時付近に穴があり、そこから分泌物が出てくるようになっています。

この分泌物は、排便時に一緒に出し、自分のテリトリーを示す二オイづけなどにも使われます。犬同士が会うとお尻のあたりを嗅ぎ合うのは、肛門腺の二オイによって個体を識別するためといわれています。

通常は、排便時に肛門周囲の筋肉が収縮した時に便と一緒に外に出ることが多いのですが（興奮や恐怖を感じるときにも出てしまう場合もあります）、出にくいコもいますし、体調異常や肥満、高齢、ストレスなどで出にくくなることもあります。分泌物が多量にたまると炎症を起こしてしまうこともあるので、病気を予防するためには、定期的に肛門腺をしぼり、分泌物を出してあげるのが効果的です。しぼり方にはコツがあるので、うまく出来ない場合は、かかりつけの動物病院やトリマーさんなどに相談して、教えてもらうのもいいかもしれません。



愛犬に関するお住まい・お庭のお悩みは **庭遊館** にお気軽にご相談下さい



携帯サイトはコチラ!!

庭園工事・外構工事・管理・設計施工

株式会社 庭遊館

〒504-0945 各務原市那加日新町6-65

TEL 058-216-3110

FAX 058-216-3113

<http://www.teiyukan.jp>

